

第55回 風流大統領

いにしへの万葉集で「みやび」と和訓が振られたように、「風流」とは花鳥風月を愛する上品で洒脱なさまを意味し、筆者も一度で良いから風流な人物と呼ばれたいと思っているが、中国では間違っても「風流」とは言われたくないものだ。中国でも元々は優雅なさまを意味していたからこそ、その意味を携えて「風流」という漢字は日本に伝来したのである。その証拠に、中国四大奇書の一つ水滸伝に登場する梁山泊第15位的好漢・董平(天立星)は天下無双の槍術のみならず、六韜三略を諳んじ、管弦の道を究めていた故を以て「風流双槍将」、「風流万戸侯」として描かれているのである。

ところが、駅長驚く勿れではないが、言葉というものは時代と共に時に変改するようであり、中国ではいつの間にか「風流」が男女間の色事を意味するようになった。かつてモニカ・ルインスキー嬢と浮名を流したクリントン元大統領は、中国や香港のメディアから当時盛んに「風流総統(好色大統領)」と揶揄されたものである。ご当地アメリカでは更に辛辣で、クリントン大統領を昔のニクソン大統領と対比させたこんな露骨なジョークが一時大流行し、いまや中国でもインターネットを通じて広く人口に膾炙している。筆者も何度か携帯メールでこんなメッセージを受け取った記憶がある。

ニクソン Ex President (元大統領)である

クリントン Sex President (翻訳・・・省略)である

ニクソン :ウォーター・ゲート(Water Gate)事件の主人公

クリントン :ウォーター・ベッド(Water Bed)事件の主人公

ニクソン 北ベトナムへの、絨毯爆撃(Carpet Bombing)で有名な人物

クリントン 絨毯上での、くずほくれつ(Carpet Burns)で有名な人物

ニクソン 冷戦(Cold War)を警戒した

クリントン :口唇ヘルペス(Cold Sore)を警戒した

リチャード・ニクソン大統領は、ヘンリー・キッシンジャー補佐官とコンビを組んで米中国交回復の道を開いた人物であり、むかしから中国での評価は高いが、米国ではその悪相とウォーター・ゲート事件の影響もあり、権謀術数を好む陰険な人物といわれてきた。ところが冷戦構造の終焉後は、徐々に彼の評価が見直されつつあり、ジョークの世界でもクリントンとの対比では大政治家と位置付けられているのが何とも滑稽である。因みに、ニクソンの著書「指導者とは」は本人の自己PRの臭気がやや強いくらいはあるものの、国際政治を学ぶ上での第一級の資料である。本著のなかにはアジアの政治家も数多く紹介されており、日本人では吉田茂、中国人では毛沢東・周恩来・蒋介石の評価が特に面白い。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

閑話休題、最近の中国では、共産党機関紙の人民日報は「敬して之を遠ざく」人が多いようで、庶民には娯楽や社会ネタに力を入れている「新民晩報」、「重慶晩報」などのタブロイト新聞が売れているようだ。一面を飾る巨大なカラー刷りの見出しは、(古くて恐縮だが)「血だるまジャイアント馬場、外人組を粉碎!」といったセンセーショナルなトーンで貫かれており、日本のスポーツ新聞そっくりである。中国タブロイト紙の一面に「真相 風流事件」といった大きな見出しが躍っていれば、男女の痴情に絡む事件と考えてまず間違いないだろう。

中国語の「風流」はことほどさように厄介な言葉だが、中国語の「下流」という言葉は更に煩わしい。もしもあなたが中国人から冗談めかして「あなたは風流(フォンリユー)だね」と言われても、親しい間柄であれば「君はプレイボーイだから」というくらいの軽い意味だから、頭を掻きながらへらへら笑っていればそれで済むが、若い女性から「あなたは下流(シアリユー)だわ!」と決めつけられたら万事休す、もうお仕舞いだ。彼女との仲が発展する可能性はないだろう。「下流」本来の意味は川の上流に対する下流の意味だったのだから、現代中国では「下品・下劣・最低」という意味になる。

ここで中国を代表する基幹産業の両雄に登場頂こう。中国を代表する石油会社であるペトロチャイナ(Petro China = 中国石油天然気)とシパック(SINOPEC = 中国石油化工)、中国の高速道路を走れば到る所に両社のガソリンスタンドを見かけるが、このライバル二社の歴史的背景は似て非なるものがある。

かつて計画経済時代だったころのペトロチャイナは大慶油田(黒龍江省)や勝利油田(山東省)を擁する(上流部門の)油田管理部門であり、行政機関としての格は日本でいえば「省」に相当する大部局であった。一方シパックは中国全土の石油コンビナートを統括する(中流・下流部門の)国営企業群がそのルーツである。その二部門が、改革開放の時代に入り業務の相互乗り入れを行い、その結果石油の探索・掘削から始まり、精製そして販売までをカバーする総合石油企業に変身を遂げる。株式会社に転換したい両社の時価総額は全世界の企業のなかでもトップクラスに位置するまでとなり、特にペトロチャイナはこの数年、エクソン・モービルと時価総額世界一で抜きつ抜かれつの大接戦を演じている。世界の石油メジャーに育ちつつある両社であるが、計画経済時代からの歴史的背景はいまでも生きており、それが両社の特徴や強みとなっている。

しかしながら、石油の中流・下流部門(精製・元売・小売)に強みを持つシパックの経営幹部に向かって、うっかり「貴社は下流だ」などと口を滑らせると、10年の出入り禁止では済まないだろう。企業訪問の際は、くれぐれもご注意いただきたい。

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成22年7月29日

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075% (税込み) (約定代金が260,869円以下の場合、3,150円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集、売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

株価指数先物 株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20% (税込み) (約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物 株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3